2011年度
決算説明会

2012年5月14日
日本新薬株式会社

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

2011年度業績と
2012年度業績見通し

2012年5月14日

日本新薬株式会社
常務取締役経営企画担当
福島和夫

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

業績の状況（連結）

（百万円）

	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
売　上　高	63,525	100.0%	67,304	100.0%	3,778	5.9%
営 業 利 益	5,181	8.2%	6,012	8.9%	831	16.1%
経 常 利 益	5,477	8.6%	6,193	9.2%	716	13.1%
当期純利益	3,958	6.2%	3,715	5.5%	△ 242	△6.1%

医薬品売上 の 内訳

（百万円）

	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
医薬品	51,293	97.6%	54,235	97.3%	2,942	5.7%
工業所有権等収益	123	0.2%	116	0.2%	△ 6	△5.4%
ﾌﾟﾙﾘﾌﾛｷｻｼﾝ原薬	982	1.9%	1,209	2.2%	227	23.1%
受託製造	156	0.3%	185	0.3%	28	18.2%
医薬品合計	52,554	100.0%	55,746	100.0%	3,191	6.1%

・ビダーザ（骨髄異形成症候群治療剤）
・トラマールカプセル（がん疼痛治療剤）
の通年寄与

・ルナベル（＋20．7％）
（月経困難症治療剤）
・アドシルカ（＋132．7％）
（肺動脈性肺高血圧症治療剤）
等新製品群の伸長

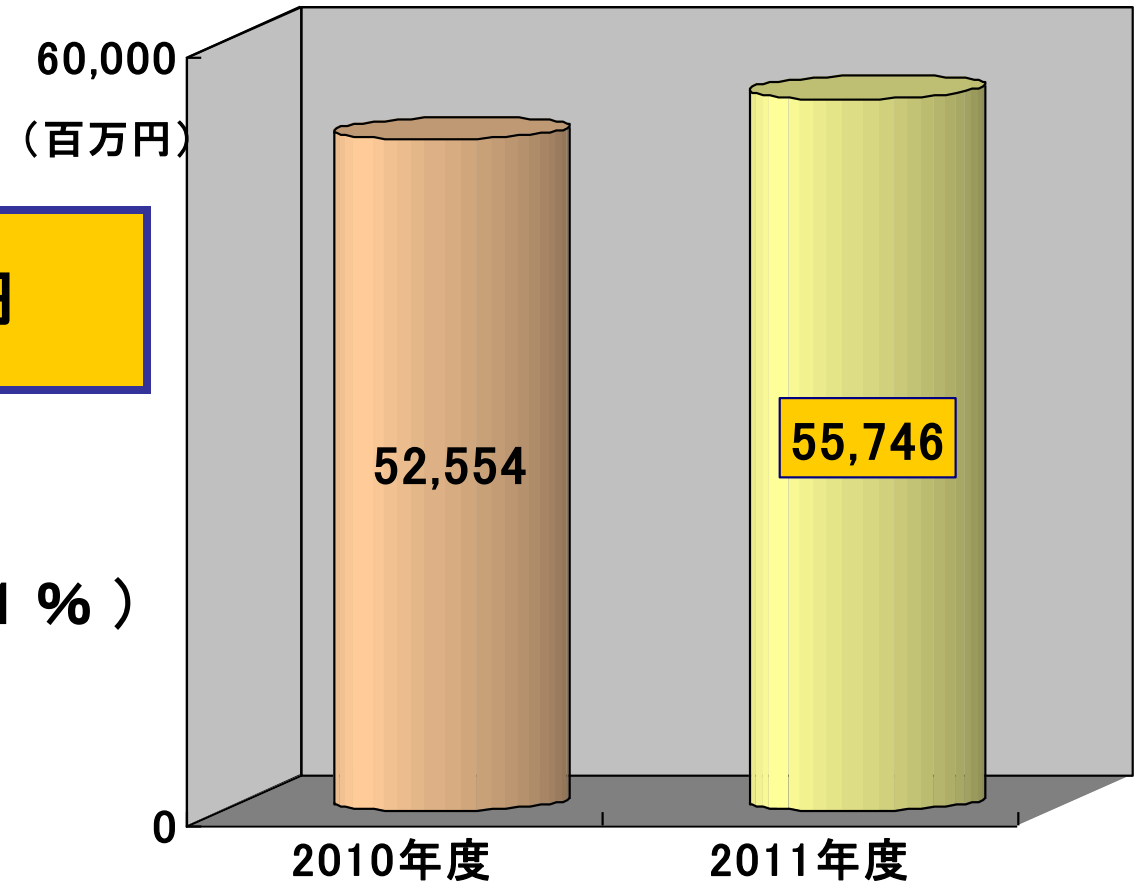
・リボスチン（△33．1％）
（アレルギー性鼻炎・結膜炎治療剤）
・バイナス（△14．8％）
（アレルギー性鼻炎治療剤）
・ハイペン（△ 9．9％）
（非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤）
等の減少

部門別業績推移　医薬品

実績 55,746百万円

対 前年度比

＋３，１９１百万円（＋６．１％）



機能食品売上 の 内訳

（百万円）

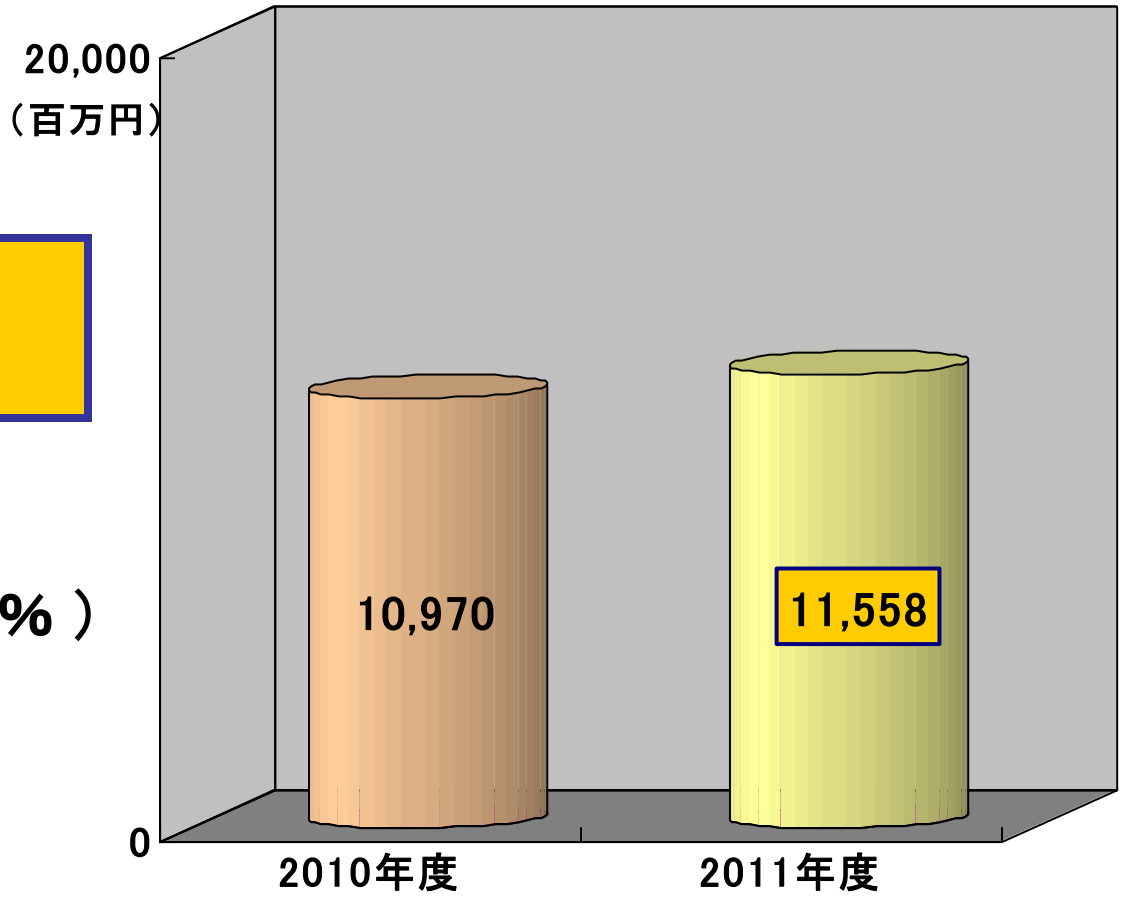
	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
健康食品素材	582	5.3%	905	7.8%	323	55.5%
品質安定保存剤	1,528	13.9%	1,566	13.5%	38	2.5%
たん白製剤	5,800	52.9%	5,805	50.2%	5	0.1%
ニュートリション素材	1,604	14.6%	1,749	15.1%	145	9.0%
その他	1,456	13.3%	1,533	13.4%	76	5.2%
機能食品合計	10,970	100.0%	11,558	100.0%	587	5.4%

部門別業績推移　機能食品

実績 11,558百万円

対 前年度比

＋587百万円（＋5．4％）

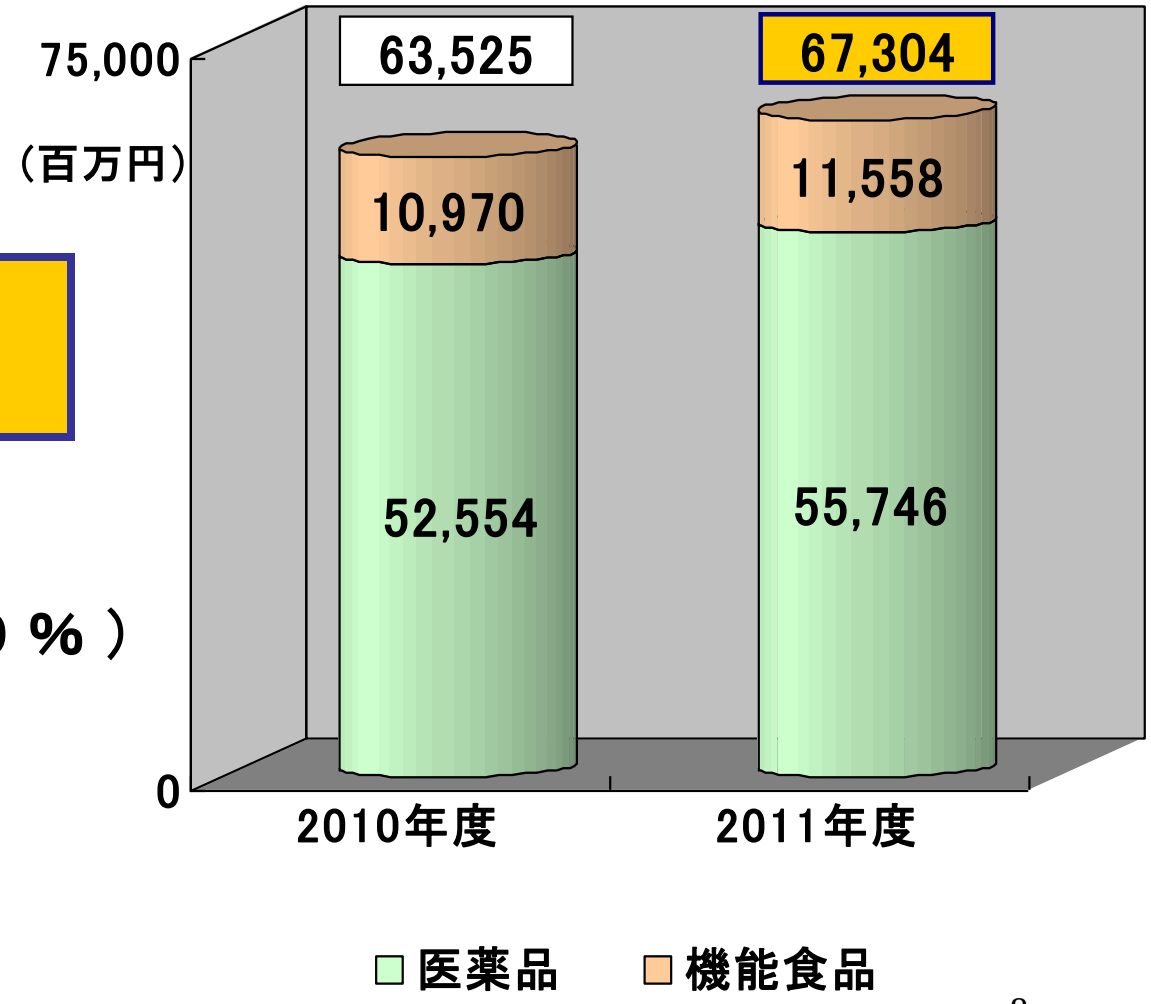


業績推移（連結）売上高

実績 67,304百万円

対 前年度比

＋３，７７８百万円（＋５．９％）



損益計算書（連結）①

（百万円）

	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
営 業 収 益						
売上高	63,525	100.0%	67,304	100.0%	3,778	5.9%
（医 薬 品）	(52,554)	(82.7%)	(55,746)	(82.8%)	(3,191)	(6.1%)
（機能食品）	(10,970)	(17.3%)	(11,558)	(17.2%)	(587)	(5.4%)
営 業 費 用	58,344	91.9%	61,291	91.1%	2,947	5.1%
売上原価	30,218	47.6%	32,702	48.6%	2,484	
返品調整引当金戻入額	25	0.0%	－	－	△ 25	
販売費及び一般管理費	19,184	30.2%	19,174	28.5%	△ 9	
研究開発費	8,967	14.1%	9,414	14.0%	447	
営 業 利 益	5,181	8.2%	6,012	8.9%	831	16.1%

損益計算書（連結）②

（百万円）

	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
営業利益	5,181	8.2%	6,012	8.9%	831	16.1%
営業外収益	1,140	1.8%	858	1.3%	△ 282	△24.8%
営業外費用	844	1.3%	677	1.0%	△ 166	△19.8%
経常利益	5,477	8.6%	6,193	9.2%	716	13.1%
特別利益	591	0.9%	－	－	△ 591	－
特別損失	133	0.2%	－	－	△ 133	－
当期純利益	3,958	6.2%	3,715	5.5%	△ 242	△6.1%

当期純利益 ：法定実効税率の変更に伴う法人税等調整額の増加などにより減益

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

配　　当

		2010年度	2011年度
普通株式1株当たり配当金	中間配当金	9 円	9 円
	期末配当金	10 円	10 円
	年間配当金	19 円	19 円
1株当たり純利益(EPS)		58.62 円	55.04 円
配当性向		32.4 %	34.5 %
純資産配当率(DOE)		1.6 %	1.5 %

財政状況（連結）

（百万円）

	2010年度	2011年度			2010年度	2011年度	
	期末実績	期末実績	増 減		期末実績	期末実績	増 減
資産の部	102,737	106,304	3,567	負債の部	21,044	21,738	693
（流動資産）	60,749	66,333	5,583	（流動負債）	12,902	13,961	1,058
（固定資産）	41,988	39,971	△ 2,016	（固定負債）	8,142	7,776	△ 365
				純資産の部	81,692	84,566	2,873
合　計	102,737	106,304	3,567	合　計	102,737	106,304	3,567

	（増加）	（減少）
資産の部	： 受取手形及び売掛金	その他の流動資産
負債の部	： 未払法人税等、未払金	支払手形及び買掛金
純資産の部	： 株主資本	

キャッシュ･フローの状況（連結）

（百万円）

	2010年度	2011年度	
	実績	実績	増減
営業活動による キャッシュ･フロー	3,233	3,658	424
投資活動による キャッシュ･フロー	△ 2,844	△ 759	2,085
財務活動による キャッシュ･フロー	△ 1,393	△ 1,341	51
現金及び同等物の 期末残高	18,142	19,665	1,523

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

設備投資の状況（連結）

設備投資及び減価償却費　　（百万円）

	実績		
	2010年度	2011年度	増 減
設　備　投　資　額	1,185	967	△ 218
減　価　償　却　費	3,116	2,948	△ 168

設備投資内訳　　（百万円）

	実績		
	2010年度	2011年度	増 減
＜日本新薬＞	1,094	841	△ 253
生産関連	307	415	108
研究開発関連	632	342	△ 290
一般関連	155	84	△ 71
＜シオエ製薬＞	33	70	37
＜タジマ食品＞	58	56	△ 2
設 備 投 資　計	1,185	967	△ 218

通期業績予想（連結）

（百万円）

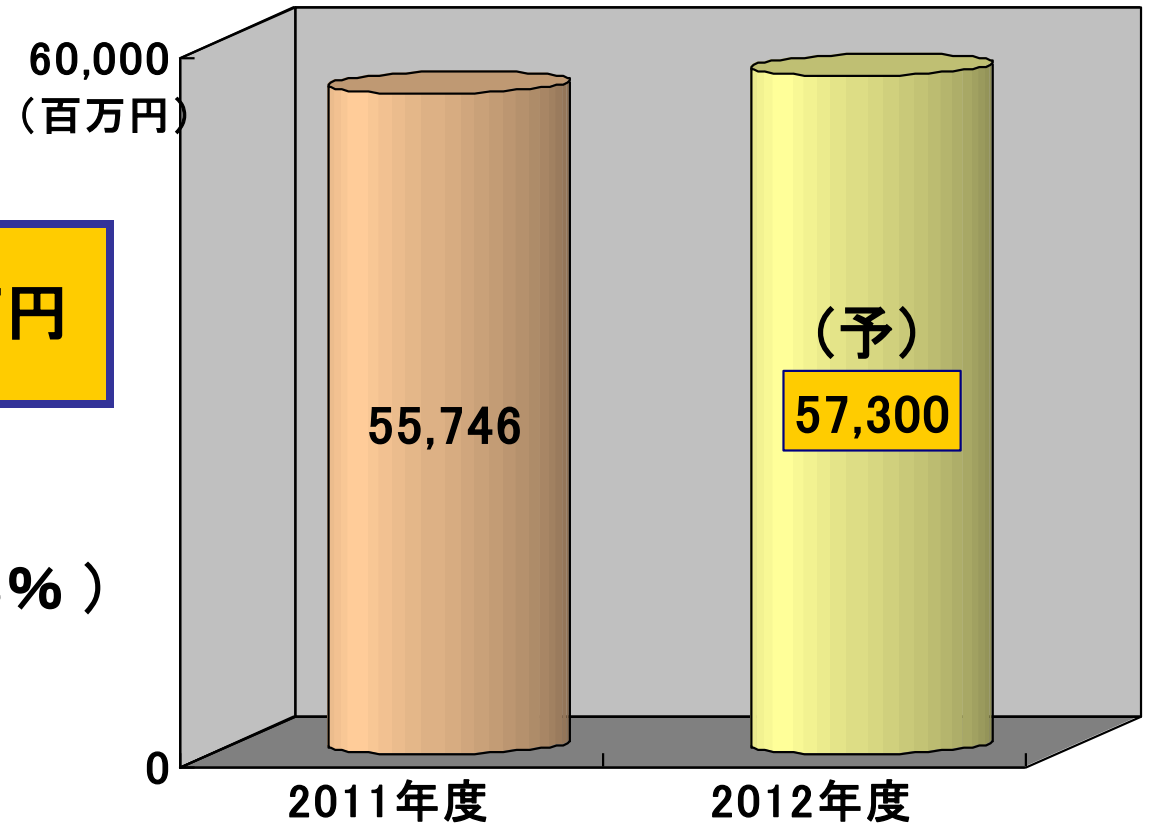
	2011年度		2012年度			
	実　績		予 想		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
売　上　高	67,304	100.0%	69,100	100.0%	1,796	2.7%
営　業　利　益	6,012	8.9%	6,400	9.3%	388	6.4%
経　常　利　益	6,193	9.2%	6,600	9.6%	407	6.6%
当 期 純 利 益	3,715	5.5%	4,200	6.1%	485	13.0%

事業別業績見通し　医薬品

2012年度 57,300百万円

対 前年度比

＋ 1，554百万円（ ＋ 2．8％ ）



医薬品売上予想の内訳

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	実 績		予 想		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
医薬品	54,235	97.3%	56,100	97.9%	1,865	3.4%
工業所有権等収益	116	0.2%	100	0.2%	△ 16	△14.2%
ﾌﾟﾙﾘﾌﾛｷｻｼﾝ原薬	1,209	2.2%	950	1.6%	△ 259	△21.5%
受託製造	185	0.3%	150	0.3%	△ 35	△18.9%
医薬品合計	55,746	100.0%	57,300	100.0%	1,554	2.8%

・ビダーザ （＋52．9％）
・ルナベル （＋14．6％）
・シアリス （＋8．4％）
・エリザス （＋175．3％）
・アドシルカ（＋59．７％）
・トラマール カプセル（＋39．９％）

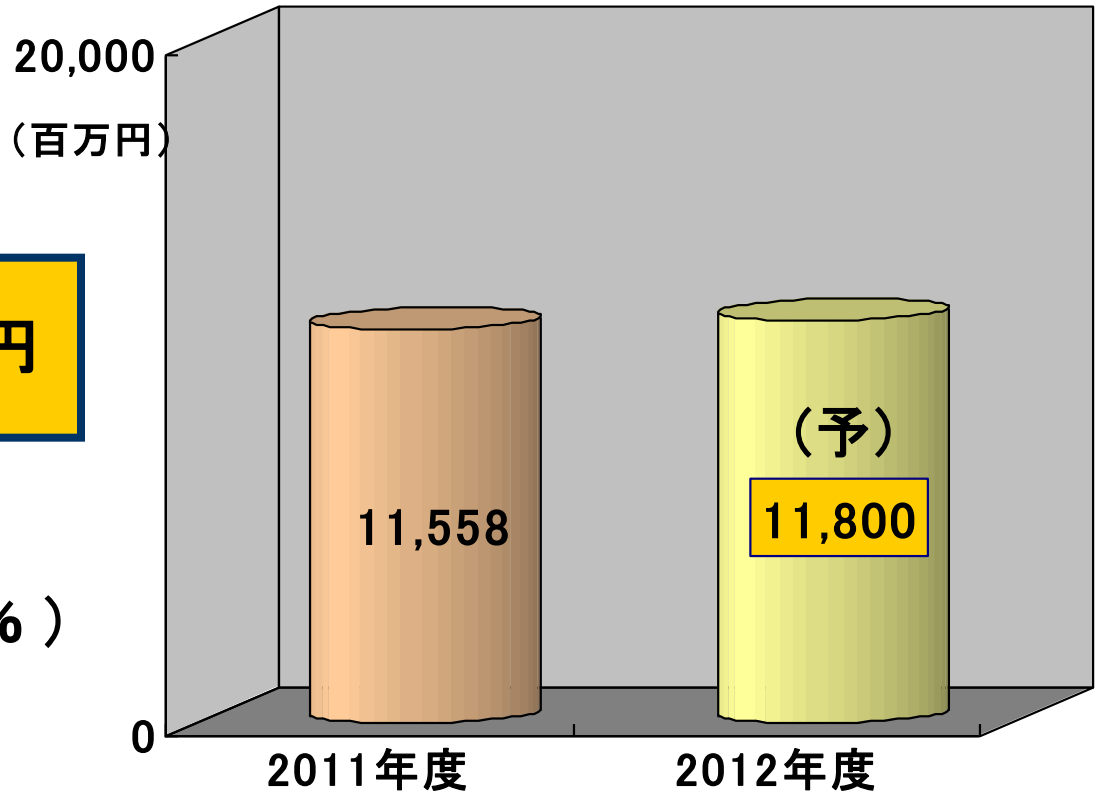
新製品群等の伸長

事業別業績見通し　機能食品

2012年度 11,800百万円

対 前年度比

＋ 242百万円（ ＋ 2．1％ ）



機能食品売上予想の内訳

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	実 績		予 想		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
健康食品素材	905	7.8%	950	8.1%	45	5.0%
品質安定保存剤	1,566	13.5%	1,620	13.7%	54	3.4%
たん白製剤	5,805	50.2%	6,020	51.0%	215	3.7%
ニュートリション素材	1,749	15.1%	1,780	15.1%	31	1.8%
その他	1,533	13.4%	1,430	12.1%	△ 103	△6.7%
機能食品合計	11,558	100.0%	11,800	100.0%	242	2.1%

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

予想損益計算書(連結)①

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	実　績		予　想		対前年度比	
		売上比		売上比	増　減	増減率
営 業 収 益						
売上高	67,304	100.0%	69,100	100.0%	1,796	2.7%
（医　薬　品）	55,746	(82.8%)	(57,300)	(82.9%)	(1,554)	(2.8%)
（機能食品）	11,558	(17.2%)	(11,800)	(17.1%)	(242)	(2.1%)
営 業 費 用	61,291	91.1%	62,700	90.7%	1,409	2.3%
売上原価	32,702	48.6%	34,100	49.3%	1,398	
返品調整引当金	－	－	－	－	－	
販売費及び一般管理費	19,174	28.5%	19,300	27.9%	126	
研究開発費	9,414	14.0%	9,300	13.5%	△ 114	
営 業 利 益	6,012	8.9%	6,400	9.3%	388	6.4%

予想損益計算書(連結)②

（百万円）

	2011年度		2012年度			
	実　績		予 想		対前年度比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
営　業　利　益	6,012	8.9%	6,400	9.3%	388	6.4%
営 業 外 収 益	858	1.3%	700	1.0%	△ 158	△18.4%
営 業 外 費 用	677	1.0%	500	0.7%	△ 177	△26.2%
経　常　利　益	6,193	9.2%	6,600	9.6%	407	6.6%
特　別　利　益	–	–	–	–	–	–
特　別　損　失	–	–	–	–	–	–
当 期 純 利 益	3,715	5.5%	4,200	6.1%	485	13.0%

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

配 当 予 想

		2011年度	2012年度
普通株式1株当たり配当金	中間配当金	9 円	10 円
	期末配当金	10 円	11 円
	年間配当金	19 円	21 円
1株当たり純利益（EPS）		55.04 円	62.23 円
配当性向		34.5 %	33.7 %

設備投資の計画（連結）

設備投資及び減価償却費　　（百万円）

	2011年度 実績	2012年度 予想	増 減
設　備　投　資　額	967	1,500	533
減　価　償　却　費	2,948	2,800	△ 148

設備投資内訳　　（百万円）

	2011年度 実績	2012年度 予想	増 減
＜日本新薬＞	841	1,350	509
生産関連	415	180	△ 235
研究開発関連	342	600	258
一般関連	84	570	486
＜シオエ製薬＞	70	70	0
＜タジマ食品＞	56	80	24
設 備 投 資　計	967	1,500	533

研究開発品目の進捗状況

2012年5月14日
日本新薬株式会社
取締役研究開発担当
松浦　明

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

新製品開発状況（国内）

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
NS－11 （ｱｶﾝﾌﾟﾛｻｰﾄｶﾙｼｳﾑ） （導入）	新成分	アルコール依存症患者の 断酒補助	申請中	ＰⅢ	申請	承認予定 ●	
NS－315 （ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩） （導入）	新効能	非がん性慢性疼痛	申請 準備中	ＰⅢ		申請 予定	承認予定 ●
LY450190 （タダラフィル） （導入）	新効能	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	ＰⅢ	日本ｲｰﾗｲ ﾘﾘｰ ＰⅢ			
NS－24 （ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩） （導入）	新剤型	がん疼痛 非がん性慢性疼痛	ＰⅢ	ＰⅠ	ＰⅢ		
ACT-064992 （マシテンタン） （導入）	新成分	肺動脈性肺高血圧症	ＰⅢ 準備中			ＰⅢ 予定	

新製品開発状況（国内）

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
NS－304 （セレキシパグ） （自社）	新成分	肺動脈性 肺高血圧症	ＰⅡ	ＰⅡ →	→	→	→
		慢性血栓塞栓性 肺高血圧症	ＰⅡ	ＰⅡ →	→	→	ＰⅢ予定 →
NS－141 （自社）	新成分	皮膚疾患に伴う そう痒	ＰⅡ	ＰⅡ →	→	→	→

新製品開発状況（海外）

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2010	2011	2012	2013年度
ﾌﾟﾙﾘﾌﾛｷｻｼﾝ（自社）	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売準備中	柳韓洋行社			
			中国 PⅢ準備中	Lee's Pharma社		PⅢ 予定 →	申請
NS－304（セレキシパグ）（自社）	新成分	肺動脈性肺高血圧症	US/EU PⅢ	Actelion社 →	→	→	→
				PⅢ			
NS－187（バフェチニブ）（自社）	新成分	B細胞性慢性リンパ性白血病	US PⅡ	CytRx社 PⅡ →	→		
		進行性前立腺がん	US PⅡ	PⅡ →	→		
		慢性骨髄性白血病	US/EU PⅡ準備中				
		多形性膠芽腫	US PⅠ	PⅠ →	→		
NS－018（自社）	新成分	骨髄線維症	US PⅠ/Ⅱ		PⅠ/Ⅱ →	→	→

NS−11（アカンプロサートカルシウム）
― アルコール依存症患者の断酒補助剤 ―

開発段階：申請中

開発形態：国内自社
メルクセローノ社(スイス)から導入
（欧州約30ヵ国で発売済み）
（米国：フォレスト社が2005/01から発売）

適応症：アルコール依存症患者の断酒補助

剤型：腸溶錠

特徴：脳内グルタミン酸の機能調節に関与することにより、アルコール依存に伴う飲酒欲求を抑制し、断酒維持を補助

NS－315（トラマドール塩酸塩）

― 非麻薬性鎮痛剤 ―

開発段階：申請準備中

開発形態：国内自社
グリュネンタール社(ドイツ)から導入
（世界約100ヵ国で発売済み）

適応症：非がん性慢性疼痛

用法：4回／日

特徴：・鎮痛作用強度はNSAIDsとモルヒネの中間
・モルヒネと比べると安全性が高い
・麻薬指定を受けていない

LY450190（タダラフィル）
― 前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤 ―

開発段階：ＰⅢ試験

開発形態：日本イーライリリーから導入（2009/04）
国内は日本イーライリリーが開発

作用機序：PDE5阻害

適　応　症：前立腺肥大症（BPH）に伴う排尿障害

剤　　型：錠剤

特　　徴：新規作用機序

NS−24（トラマドール塩酸塩）

― 持続性非麻薬性鎮痛剤 ―

開発段階: PⅢ試験

開発形態: 国内自社

2010/03、パラディン社（カナダ）から導入

（世界19ヵ国で発売済み）

適　応　症: がん疼痛、非がん性慢性疼痛

用　　法: 1回/日

剤　　型: 持続性製剤（錠剤）

特　　徴: 速放剤と徐放剤の長所を兼ね備えた持続性鎮痛剤

ACT－064992（マシテンタン）
－肺動脈性肺高血圧症治療剤 －

開発段階: 海外　PⅢ試験終了
　　国内　PⅢ試験準備中
開発形態: 2010/02、アクテリオン社（スイス）から導入
　　国内はアクテリオン・ジャパンと共同開発
作用機序: 組織特異的エンドセリン受容体デュアル
　　アンタゴニスト
適　応　症: 肺動脈性肺高血圧症
剤　　型: 錠剤
特　　徴: 肝障害の少ない長時間作用型経口剤

NS－304（セレキシパグ）
－ 肺高血圧症治療剤 －

開発段階： 欧州（EMEA）オーファン指定（2005/08）
海外: ＰⅢ試験
国内: ＰⅡ試験

開発形態： 2008/04、アクテリオン社（スイス）へ導出
（日本を除く全世界）
国内はアクテリオン・ジャパンと共同開発

作用機序： 選択的PGI_2アゴニスト

適　応　症： 肺高血圧症

剤　　型： 錠剤

特　　徴： 長時間作用型経口剤

NS－141
－ 抗そう痒剤 －

開発段階：ＰⅡの探索的試験終了
次試験準備中

適　応　症：皮膚疾患に伴うそう痒

剤　　型：軟膏剤

特　　徴：・抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序
・既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待される

プルリフロキサシン
― キノロン系合成抗菌剤 ―

開発段階：

国内：Meiji Seika ファルマ/スオード錠
発売　：2002/12

海外：アンジェリーニ社（イタリア）
販売承認　：2004/09
発 売（伊）　：2004/11
欧州各国承認　：2005/04

リーズ・ファーマ社（香港）
契 約　：2009/03
ＰⅢ準備中

柳韓洋行社（韓国）
契 約　：2003/02
承 認　：2007/12

NS－187（ﾊﾞﾌｪﾁﾆﾌﾞ）
－チロシンキナーゼ阻害剤－

開発段階：海外ＰⅡ試験

開発形態：2005/12、サイトレックス社(米国)へ導出
（日本を除く全世界）

作用機序：Bcr-Abl チロシンキナーゼ阻害および
Lyn チロシンキナーゼ阻害

適　応　症：B細胞性慢性リンパ性白血病
進行性前立腺がん
慢性骨髄性白血病（ＰⅡ試験準備中）
多形性膠芽腫（ＰⅠ試験）

剤　　型：錠剤

特　　徴：イマチニブ耐性変異体にも効果

NS－018
― 骨髄線維症治療剤 ―

開発段階：海外（米国）ＰＩ／Ⅱ試験
開発形態：自社開発
作用機序：JAK2チロシンキナーゼ阻害
適 応 症：骨髄線維症
剤　　型：錠剤
特　　徴：・強力な阻害作用と活性型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高い
・骨髄線維症治療におけるBest In Classを目指す

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。

- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。

- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。